

## 第 2 1 回基本方針策定タスク 議事録

1. 開催日時：平成 19 年 8 月 21 日（火）18：10～20：00
2. 開催場所：日本電気協会 4B 会議室
3. 出席者（順不同，敬称略）

出席委員：関村主査（東京大学），新田（日本原子力発電），唐澤（東京電力），石沢（東京電力），白井（関西電力），田口（東京電力），谷口（日本原子力発電），小倉（東京電力），浅井（日本電気協会）（9 名）

代理出席委員：今井（東京電力 宮田委員代理）（1 名）

欠席委員：班目（東京大学），渡邊（東京電力）（2 名）

事務局：国則，石井，大東，中島，糸田川（日本電気協会）（5 名）
4. 配付資料
  - 資料 21-1 第 20 回基本方針策定タスク 議事録（案）
  - 資料 21-2 基本方針策定タスク 委員名簿
  - 資料 21-3-1 規格策定基本方針の見直しについて（中間報告）（案）
  - 資料 21-3-2 規格策定基本方針の見直し内容説明書
  - 資料 21-3-3 活動の基本方針（案）
  - 資料 21-4 各分科会活動の基本方針（案）
    - 資料 21-4-1 安全設計分科会
    - 資料 21-4-2 構造分科会活動
    - 資料 21-4-3 原子燃料分科会（検討中）
    - 資料 21-4-4 品質保証分科会
    - 資料 21-4-5 耐震設計分科会
    - 資料 21-4-6 放射線管理分科会
    - 資料 21-4-7 運転・保守分科会
  - 資料 21-5 原子力規格委員会の英字略称について（案）
  - 参考資料 1 第 25 回原子力規格委員会 議事録（案）
  - 参考資料 2-1 第 5 回基本方針策定タスクワーキング 議事録（案）
  - 参考資料 2-2 第 6 回基本方針策定タスクワーキング 議事録（案）
  - 参考資料 3 原子力規格委員会 規約
  - 参考資料 4 原子力規格委員会 運営規約 細則
  - 参考資料 5 次期耐震設計規定策定準備作業会（仮称）の設置について（設置趣意書）
5. 議事
  - （1）会議定足数等の確認

代理出席者 1 名について，規約に基づき関村主査の承認を得た後，事務局より，委員総数 12 名に対し代理出席者を含め本日の委員出席者数 10 名で，議案決議条件の「委員総数の 2 /

3以上の出席」を満たしていることの報告があった。

なお、資料21-2の委員名簿において、田南委員から宮田委員へ委員交代されていることが、事務局より報告された。

(2) 前回議事録(案)の確認

事前配信済みの前回議事録(案)、資料21-1については、原案どおり承認された。

(3) 規格策定基本方針の見直しについて

資料21-3-1~21-3-3により、規格策定基本方針の見直しについて説明が行われ審議した。一部コメント箇所を修正し、9月5日の原子力規格委員会に中間報告することについて、出席者全員の賛成で承認された。

主なコメントを以下に示す。

見え消し版(資料21-3-2)の付則1, 2, 3等は、すべて内容が消されているため、その行き先がわからないので、それぞれの表紙に「運営規約細則に移行」等の注記をつけた方がよい。

4.項「規格策定の基本事項」に対して、規約第2条(委員会の活動)第一項「規格制定に係る活動」のイ項に「規格制定に関する基本方針を策定すること。」という記載がある。「基本方針」は、「基本事項」に合わせた方がよい。口項も同様。

5.2項の中にあるJEAG4601等の記載部分は異質な感がある。9月5日用には、注記あるいは( )書きにしたほうがよい。

5.4項の各分野・分科会活動の内容をこのような形で入れることがよいのか、それとも別紙とするのがよいのか。また、分野としての活動か、分科会としての活動か。どういう内容を書くのか。

資料21-4「各分科会活動の基本方針(案)」は、各分野における電気協会としての立ち位置を明確に記載するという方針で各幹事がまとめたはず。したがって、その方向で検討していく過程で、本文中に入れるのではなく、別紙とする場合などは、方針変更を、規格委員会でも説明できるようにしておく必要がある。

5.4項の中身は、そんなに長く書くものではない。タイトルを「個々の分野に関連した規格の(策定)活動」などと変更の上、個々の幹事の方に9月5日までにそれぞれ3行程度にまとめてほしい。代表して構造分野でサンプルを作ってもらい、それに倣って他の分野も作るものとする。

(4) 原子力規格委員会の英字略称について

事務局より、資料21-5により、「原子力規格委員会」の英字略称について説明が行われ、第16類(印刷物など)で「NUSC」(ヌスク)および「JNUSC」(ジェイ・ヌスク)の登録に向けた手続きを進めることが、出席者全員の賛成で了承された。

なお、9月5日の規格委員会では、本タスクの議事録紹介の中でふれることとした。

主なコメントを以下に示す。

商標登録の粹取りをするということか。提案か。(登録されるかどうかは、やってみな

いとわからないところがあるので、今回は2件申請する。両方とれたら、どちらにしましょうかという提案ができる。日本電気技術規格委員会が JESC を使用しているが、原子力についても将来に向けて登録しておきたい。）

登録費用はかかるのか。（費用はかかる。登録後も10年ごとに10万円単位で更新費用が必要となる。）

(5) その他

参考資料5「次期耐震設計規定策定準備作業会（仮称）の設置について（設置趣意書）」により、最近の耐震関連の動向が紹介された。

次回タスクの開催日については、事務局が班目委員（本日欠席）のご都合を伺い、後日各委員に連絡することとした。

以 上